

W-BRIDGE

'12年度活動報告



Waseda-Bridgestone Initiative for Development
of Global Environment

W-BRIDGE

Message

地球環境保全のための「架け橋」を目指して

早稲田大学と株式会社ブリヂストンが連携して進める「W-BRIDGE」は、環境問題という人類共通の課題に対し、産学連携に加え、環境 NGO や市民団体といった一般の生活者の方々にも参画いただき、三者一体で研究・活動を行える枠組みを提供するプロジェクトです。企業と大学の連携に、地域の生活者との連携をプラスして、二つの架け橋、つまりダブルブリッジに基づいた実践的な研究・活動を支援していくことを目的としています。

2008 年 7 月のスタート以来、のべ 71 件のプロジェクトを支援してきました。研究者と市民そして学生の上に架け橋をわたして、ともに地球環境を守るための研究・活動をすすめています。世界的な業績を上げた研究者や著名な NPO 活動者から、それぞれの地域で生活と環境を守っているみなさん、未来への希望に満ちた学生まで一緒に手を携えて行動をしています。ちょっと照れくさいですが、地球とみんなの「しあわせ」を目指して。

W-BRIDGE (Waseda-Bridgestone Initiative for Development of Global Environment) は早稲田大学環境総合研究センター内に設置された産学連携プロジェクトです。

以下に示す株式会社ブリヂストンが定めた 4 つの領域で募集を行い、早稲田大学および早稲田大学提携校等に所属する研究者と民間団体などの連名で応募いただき、審査委員会および運営委員会の審査を経た案件に対し、早稲田大学環境総合研究センターから研究・活動を委託しております。

1. 企業や生活者がともに自然と共生していく方法を考える
2. 資源を大切に使い循環させる仕組みを、生活者とともに考える
3. 2050 年の視点から CO₂ を減らす方法を、生活者とともに考える
4. 環境保全の知見や手法を世界にひろげ、次世代とともに学ぶ方法を考える

また、研究・活動を支え、情報を発信する活動も併せて行っています。2012 年 11 月 1 日現在、のべ 71 件のプロジェクトが採択されており、対象地域もインドネシア、東北復興地域から早稲田の町内会まで、研究者も海外の大学からの参画も含み、連携する民間団体も東北復興地域の住民組織、商工会、地域団体、ジャーナリスト団体、学生団体など多様な広がりを見せています。

本レポートの内容は、W-BRIDGE プロジェクトの第 4 期の活動の概要を表したものです。詳細は、Web サイト (www.w-bridge.jp) をご覧いただくか、W-BRIDGE 事務局（連絡先は裏表紙に記載）までお問い合わせください。





写真 上：(秋吉プロジェクト)
畑の種まき、ブルーベリーの花

中：(森川プロジェクト)
南カリマンタン森林修復地

下：(加藤プロジェクト)
稲のはさ木干し、稲刈り



ご挨拶

代 表 堀口健治

W-BRIDGE (Waseda-Bridgestone Initiative for Development of Global Environment の略) は、地球環境の保全に貢献するために、早稲田大学と株式会社ブリヂストンの連携で、早稲田大学環境総合研究センター内に設置された産学連携プロジェクトで、地球環境分野において、従来の産と学の連携に、地域の生活者との連携を加え、二つの架け橋、つまりダブルブリッジに基づいた実践的な研究・活動を支援し、その成果を広く発信していきます。

早稲田大学は、環境分野においては、理工学系と人文社会科学系が協働して問題に取り組むことが重要であるとの認識から、学問領域統合型のアプローチを旨とする環境総合研究センターを設置して活発な研究展開を行うとともに、大学院環境・エネルギー研究科を設置して、時代の課題に応えた大学院教育を展開して参りました。

株式会社ブリヂストンは、環境宣言に掲げる“未来のすべての子どもたちが「安心」して暮らしていくために…”という変わらぬ思いのもと、かねてから経営の最重要課題の一つとして環境経営活動を積極的に実践して参りました。すなわち、生産活動における環境負荷軽減をはじめとし、環境対応商品の開発・販売やリトレッド事業の展開など、広範囲な事業領域だけでなく、地域的な広がりもふまえた多様性のある活動を展開して参りました。



そして双方は、日々深刻化する地球環境問題解決の道筋を明らかにするという、企業および大学の社会的使命を果たしていくためには、従来の企業と大学の連携の枠を超えた、人々の生活により近づいた取り組みが必要だと考え、2008年7月に当プロジェクトをスタートさせました。

地球環境問題は、人類、ひいては全ての生物に関わる問題であり、その解決のための研究は、地域に生活する人々による実践的なものでなければなりません。本プロジェクト設立の意図は、生活者としての一般の人々に参加して頂けるような枠組みを作ることです。

今期は、2011年3月に発生した東日本大震災からの復興を、W-BRIDGEの重要なテーマの一つとして掲げ、復興地域の生活者の方々が主体として取り組む複数の環境プロジェクトを採択し、W-BRIDGEプロジェクトの総力を挙げて推進しております。

本当に持続可能な社会を実現していくには、人間の生活というものを無視して進めることはできません。地域で実生活に根ざした活動をされている方々を、産学の連携に巻き込み、一緒に課題解決に取り組んでいく、そういう三者連携の新しい枠組みで、地球規模の問題解決に貢献していきたい。また、得られた成果は広く世の中に発信し、多くの方々に活用していただけるようにしていきたいと、当プロジェクトは考えます。

皆様におかれましては、当プロジェクトの趣旨をご理解いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



写真 左から順に
秋吉プロジェクト
岩井プロジェクト
納富プロジェクト
永田プロジェクト
島谷プロジェクト
エコピアの森
加藤プロジェクト